

自分たちができること

はまだしりつやさかちゅうがっこう
浜田市立弥栄中学校 三年
とだ はるま
戸田 陽留方

僕は、毎日朝と夕方にニュースを見ます。そこで、最近ダムの水が少なくなり、ダムの底が見えるというニュースがたびたび流れてきます。原因は、雨が降らず水がたまらないからというものだと知りました。僕が初めてこのニュースを見る前は、この地球は7割が海で、また、この日本という国は、海に囲われているため水に困ることがないと思っていました。

けれども、調べると人間が一日に摂取する水の量は、約3リットルにもなるということを知りました。

人が生活するためには、水を飲んだり、水を使ってお風呂に入ったり、手を洗ったりするだけではありません。なぜかという、食糧を育てるためにも、水は必要だからです。

僕の住んでいる地域では、毎年お米を栽培しています。僕の父や祖父も自分の水田を持っていて、毎年僕は、そのお米を食べています。しかし去年、水田に水を入れる時期に、川から水を、引いてこようとしても川の水が少なすぎて、なかなか田に水が入らないことが起きてしまいました。その結果、例年よりも実の入りが悪く不作になってしまい、値段が高くなるということがありました。また、都市部の方でも、畑にまく水が不足していたため、野菜が毎年よりも大きさが小さかったり、枯れてしまったりと、日本の経済を大きく揺るがせたというニュースを聞きました。

だからといって何もせずに、水が湧いて水源が増えるわけではないので日々自分たちができる節約などをして、水を大切に使わないといけないと思いました。

しかし節約は何をしたら良いのかわからない人がいるかもしれないので、僕なりに考えてみました。一つ目は、水を止めるということです。例えば、体や手を洗う時に水を出したままで石鹸などを使って洗うのではなく、水を止めてから洗うことを心掛ける。二つ目は、飲水は最後まで飲み切り、飲み切れない場合は洗い物などほかのものに使い最後まで大切に使うことだと考えました。

また、水をきれいな状態でするために汚さないことをこころがけることが大切だと思います。歴史の授業で日本で起こった公害のなかに工場から出た有害物質が海に流されその近くに住んでいた魚たちがそれを食べてしまいその魚を人間が食べ多くの人が苦しんだということを習ったので、二度と起こさないためにも海や川に有害物質を捨てないことが対策だと思います。また、この対策をすることで魚も喜ぶと思います。

このようにさまざまな経験から二つのことが分かりました。一つ目は、水というのは使うといつかなくなるということ。二つ目は、水がもたらす災害は多くあるが、動物や植物が生きるために必要不可欠な物だということです。

僕は将来、水に関係している職業に就くかもしれませんが、もし就かなくても、水とかわらずに生きていくことはありません。水がなくては生活もできないので、水の大切さをしっかり理解をして生活をするために、自分ができる節約をしたり、水を汚さないということを意識して過ごしたいです。